

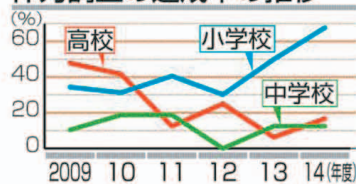
年	組	名前
---	---	----

小学生の体力過去最高

上体起こし課題の項目改善

県教委は21日、県内全ての小中高の児童生徒を対象にした本年度の「体力・運動能力調査」の結果を公表した。小学生は上体起こし、ボール投げといった多くの項目で好結果が出て、昨年度の全国平均以上の割合を示す達成率は67・7%となった。過去最高だった昨年度から17・7%上昇した。全体的に達成率は伸びているが、中学生は依然として全国を下回る項目が多かった。小6は親世代が小学生のころに比べ体格は勝るが体力は低いことも分かった。

体力調査の達成率の推移



※2011年以前の中学・高校の調査サンプル数は現行の半分

小学6年の体格と体力

	身長 (cm)	体重 (kg)	50m走 (秒)	ボール投げ (m)
男子				
1986年	142.7	36.3	8.85	32.59
2014年	144.7	37.9	9.01	28.59
女子				
1986年	145.3	38.0	9.11	20.34
2014年	145.9	38.3	9.36	17.13

中高生は低迷続く

今回の調査では子どもの親世代に当たり、体力がピークとされる1985年ごろの児童との比較を初めて実施した。現在の小6は86年の小6に比べ、男子は身長が144.7cm、男子は身長が144.7cm、体重は37.9kgで2cm高く、体重は37.9kgで1.6kg重かった。50m走は9.01秒で0.16秒遅く、ボール投げは28.59mで4m短かった。

同課は「児童生徒の生活習慣は毎日運動する割合が増え、テレビやゲームを長時間する割合は減っている。学校と家庭で連携を図り、85年ごろの水準に近づけるようにしたい」と話している。

(2014年10月22日夕刊11面)

大分県教委は、県内全ての小中高の児童生徒を対象にした本年度の「体力・運動能力調査」の結果を公表しました。

①小学生の平均は、何年よりも全国平均を下回った。何年よりも全国平均を上回った。

②親世代の1986年の小6に比べ、ボール投げは何メートル短くなりましたか。

③体力を向上するため、どんなことをすればいいと思いますか。考えてみよう。